

2019 ピース・ウイング長崎

平和のあゆみ



公益財団法人 長崎平和推進協会

Nagasaki Foundation for the Promotion of Peace

Contents

公益財団法人 長崎平和推進協会	1
設立の意義	
沿革	
事業	
会員制度	
組織図	
公益財団法人 長崎平和推進協会事業概要	2
I 平和推進事業	
1 発刊	2
2 平和意識の啓発	3
3 国際平和交流	10
4 部会活動	11
II 長崎原爆資料館運営事業	11
III 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業	11
IV 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業	12
V 収益事業	13
フォト特集！2018年を振り返って	14
公益財団法人 長崎平和推進協会この一年の動き	15
第6回 核兵器廃絶－地球市民集会ナガサキ	17

※表紙の説明

平成30年10月27日開催「市民のつどい」の風景です。



公益財団法人 長崎平和推進協会

設立の意義 ※設立趣意書から掲載

原子爆弾の惨禍を身を持って体験した長崎市民は、国境を越え、人種を超え、考え方の相違を乗り越えて、全世界に向かって恒久平和の実現を訴える責務があります。

全ての社会秩序の根幹は平和であり、平和でなければ、文化の向上も、科学の進歩も、経済の発展も望めません。しかし、現実の世界情勢は、核兵器の増加拡散が、また局部的な紛争や東西間の緊張がとどまることなく続いています。

長崎市は人類史上最後の被爆地でなければなりません。長崎市民は、全人類的な視野に立って、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に寄与するとともに、人類の福祉に貢献することが必要であると考えます。

沿革

長崎市は、原爆被災都市ナガサキの使命として、従前から長崎市の固有事務として各種の平和推進のための施策を行ってきました。

しかし、行政独自では種々のあい路があるところから、この施策をさらに効果的に施行するために、昭和58年2月、広く市民の参加を求め、初代理事長 秋月辰一郎氏の「小異を残して大同に集まる」という理念のもと官民一体となった任意団体長崎平和推進協会を発足させ、被爆体験の継承をはじめ、平和に対する意識高揚のための事業に取り組んでまいりました。

長崎市民の悲願である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現という究極の理念達成のためには、さらに確固たる目的をもって永続性のある公益性の高い平和推進体制を樹立し、文化を基調とした事業を通じて、幅広い見識と高い知性の国際感覚に優れた市民を育成することが望まれます。

このような理由から昭和59年4月1日、財団法人長崎平和推進協会を設立しました。以来、長年にわたって被爆体験講話をはじめさまざまな平和推進事業を展開して

きました。平成21年4月1日には、財団設立25周年を迎え、同年度中には記念式典や継承シンポジウムなど多彩な記念事業を行いました。

そうした中、100年ぶりともいわれる公益法人（財団法人・社団法人）の制度改革が行われることになり、平成20年12月1日には公益法人改革関連3法が施行されました。当協会は、業務の内容や組織の性格からも公益財団法人に移行することを目指し、2年間ほどの準備を経て、平成23年4月1日に公益財団法人として設立することができ、新たな歩みを始めました。

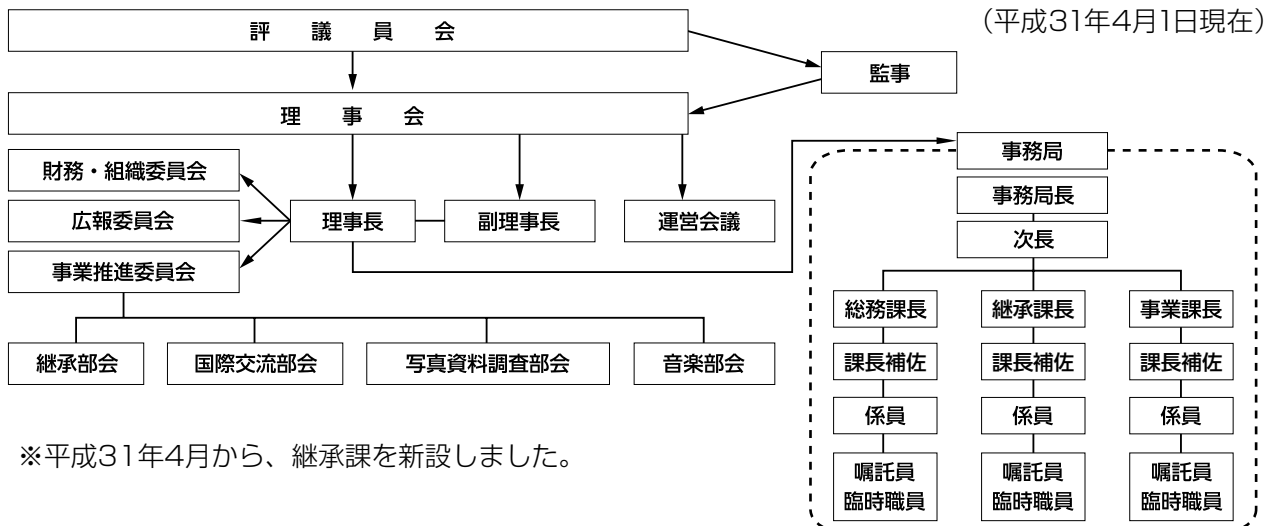
事業 ※定款から掲載

- (1) 平和に関する諸問題の調査研究
- (2) 原爆被災並びに平和に関する資料の収集、整理、活用及び情報発信
- (3) 被爆体験の継承並びに平和に関する講座、講演会等行事の開催
- (4) 国際平和機関との連携交流
- (5) 被爆体験の継承や平和意識高揚のための助成事業
- (6) 平和に関する出版物の刊行・頒布及び受託販売
- (7) 平和意識の普及に係る物品等の製作・販売
- (8) 法人の目的に適合する諸施設の管理運営等に関する受託事業
- (9) その他法人の目的を達成するために必要な事業

会員制度

- (1) 会費 維持会員(個人) 年額 3,000円以上
賛助会員(団体・個人) 年額 10,000円以上
学生会員 年額 1,000円以上
- (2) 部会 会員が協会の事業目的を広く周知啓発するとともに、円滑な事業遂行に寄与する。
①継承部会 ②国際交流部会
③写真資料調査部会 ④音楽部会

組織図



※平成31年4月から、継承課を新設しました。



公益財団法人 長崎平和推進協会

I 平和推進事業

1 発刊

① 会報「へいわ」の発行(年4回)

(平成31年3月現在161号発行)

協会の事業活動や平和に関する最新情報を提供するとともに、会員のコミュニケーションを図るための機関誌を発刊しています。

会員や関係各機関への送付のほか、平成22年度から広く市民の平和意識の高揚を図る観点から、多くの市民が閲覧できるように、協会ホームページに掲載しています。

1回あたりの発行部数 3,000部 (A4判8ページ)



② ブックレット「平和のあゆみ」の発行(年1回)

協会が設立されてから、これまでにわたる事業内容をまとめ、平和を考える時の参考資料として活用できるよう、ブックレット「平和のあゆみ」を、昭和61年から平成16年まで毎年発行してきました。(A5判130ページ)

平成17年度版からは、1年間の出来事を中心に、より見やすいように体裁を改め、会員や関係各機関へ送付しています。

1回あたりの発行部数 2,000部 (A4判16ページ)



③ 情報BOXの発行(月1回)

会報「へいわ」発行の合間に、事務局の動きや行事の開催予定などの最新情報を掲載して、役員・評議員、部会員や平和案内人などに毎月発行しています。

1回あたりの発行部数 約300部 (A4判・両面1枚)



④ パンフレットの発行

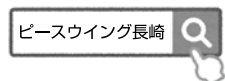
協会の事業内容の紹介とともに、事業活動の状況や会員の特典などを説明した「協会会員入会案内パンフレット」を作製し、長崎原爆資料館や追悼平和祈念館などで配布しています。



⑤ ホームページ (URL : <https://www.peace-wing-n.or.jp/>)

協会の設立趣旨や事業概要、被爆体験講話・平和案内人の申込をはじめ、会報「へいわ」などの情報を掲載しています。

※当協会の愛称「ピースウイング長崎」は広報紙や全国公募ガイドなどを通して呼びかけ決定したものです。「長崎から平和を訴えていくための翼となってほしい」という願いが込められています。



⑥ LINE

平成30年10月から毎週月曜日に協会のホットなニュースをLINEで発信しています。



2 平和意識の啓発

① 被爆体験の継承

長崎市内で平和学習に取り組む小中高校や団体などから依頼を受け、被爆者（継承部会員）が自らの被爆体験や平和の大切さをお話する「被爆体験講話」を実施しています。

修学旅行などで長崎を訪れる県外の学校・団体からの申込が多数ですが、海外からの団体や、長崎県内の小中高校などにも講話を行っています。

近年は平和学習の多様化や少子化、自然災害などの影響もあり、申込件数は減少傾向にありましたが、平成30年度は10年ぶりに1,200件を割り込みました。

被爆体験講話の年度別件数

年 度	講話件数
平成20年度	1,192
平成21年度	1,282
平成22年度	1,333
平成23年度	1,352
平成24年度	1,342
平成25年度	1,312
平成26年度	1,355
平成27年度	1,369
平成28年度	1,227
平成29年度	1,253
平成30年度	1,191



被爆体験講話の様子

講話件数、受講者の内訳

区 分	平成29年度			平成30年度		
	講話件数		受講人数	講話件数		受講人数
	件数	うち市内		件数	うち市内	
小 学 校	538	69	51,804人	526	69	49,442人
中 学 校	378	39	54,617人	349	39	46,300人
高等学校	225	4	45,729人	221	37	43,810人
一 般	112	19	10,538人	95	27	7,864人
計	1,253	131	162,688人	1,191	172	147,416人

※表中の「うち市内」は、長崎市内の小学校・中学校・高校・一般の講話件数

**② 国内外での継承活動**

長崎市内での活動以外にも、全国の自治体などから依頼を受け、その市町村での講話会を行っています。被爆者（継承部会員）による被爆体験講話の他、被爆後の惨状を写した写真展示やDVD上映なども実施し、原爆の脅威や惨状を伝え、核兵器廃絶と平和の大切さを訴えています。

長崎市と開催市町及び当協会の共催で行う「県外原爆展」には、被爆体験講話を行う継承部会員だけでなく、写真資料調査部会員を派遣し、来場者に写真パネルなどの展示解説も行っています。

この他、長崎県が主催する「被爆体験講話者派遣事業」では、継承部会員が県内市町の小学校、県外の大学を訪れ、被爆体験をお話ししています。

[平成30年度 県外での被爆体験講話]

開催都市	企画(主催)	実施日	受講人数	摘要
大阪府八尾市	八尾市	7月3日～6日	1,556人	
宮崎県日向市	日向市	7月10日	420人	
青森県八戸市	八戸市、長崎市、協会	7月14日	73人	県外原爆展
秋田県秋田市	秋田市	7月15日～16日	150人	
山形県山形市	山形市、長崎市、協会	8月5日	70人	県外原爆展
千葉県浦安市	浦安市	9月9日～10日	500人	
新潟県柏崎市	柏崎市	9月20日	420人	
神奈川県藤沢市	藤沢市	10月16日～17日	1,937人	
香川県高松市	高松市、長崎市、協会	12月6日	550人	県外原爆展

[長崎県主催事業 被爆体験講話者派遣事業]**県内市町（小中学生対象）**

派遣市町	実施場所	実施日	受講人数
南島原市	中学校	6月20日	274人
波佐見町	小学校	6月20日	325人
雲仙市	中学校	6月20日	188人
西海市	小学校	6月27日	224人
対馬市	中学校	6月28日～29日	133人
平戸市	小学校	7月4日	95人
松浦市	小学校	7月4日	122人

県外大学（留学生対象）

大学名	実施日	受講人数
佐賀大学	12月11日	50人
九州大学	1月21日	50人

[平成30年度 海外での被爆体験講話]

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館が主催する「海外原爆展」に継承部会員を派遣し、被爆体験講話を行いました。

開催地	イベント名	講話実施日	講話者
ポルトガル共和国 ポルト市 リスボン市	海外原爆展 「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」 (10月1日～11月30日開催)	10月11日～16日 (計6回)	三瀬 清一郎

被爆体験講話の様子



ポルト市・ポルト大学



ポルト市・エシュコーラ バジカ トリーニャ学校

③ 原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）の貸出

修学旅行などの事前学習や写真展などの開催に役立ててもらうため、原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）を無料で貸し出しています。

[原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）の貸出]

区分	平成29年度			平成30年度		
	写真パネル	DVD（ビデオ）		写真パネル	DVD（ビデオ）	
	件数	件数	本数	件数	件数	本数
小学校	3	5	10	2	13	29
中学校	0	17	33	1	17	42
高等学校	2	24	51	3	20	40
一般（自治体など）	7	24	45	12	20	47
計	12	70	139	18	70	158

④ 講演会の開催

会員及び市民に世界恒久平和への諸問題について認識を深めてもらうため、講演会を実施してきました。平成30年度は、スポーツジャーナリストでノンフィクション作家の松瀬学氏をお招きして、「平和とスポーツ」について熱く語っていただきました。

〈これまでの主な講演会（抜粋）〉

開催日	講師(敬称略)	演題	備考
平成9年10月26日	吉永小百合(女優)	原爆詩朗読	国連軍縮週間講演会
平成11年7月28日	吉永小百合(女優)	第2楽章 長崎から	原爆詩朗読会
平成11年12月17日	吉永小百合(女優)	第2楽章 長崎から	原爆詩朗読会
平成15年7月25日	吉永小百合(女優)	原爆詩朗読	協会設立20周年記念 追悼平和祈念館開館記念
平成16年2月25日	美輪明宏(歌手・タレント)	「愛と平和の祈りをこめて」	協会設立20周年記念
平成16年12月18日	吉村作治(大学教授)	「エジプト古代史から 学ぶ戦争と平和」	
平成17年12月9日	なかにし礼(作家)	「自由から創造へ」	被爆60周年
平成18年12月6日	島田洋七(タレント)	「元気・勇気・やる気」	
平成20年2月22日	海老名香葉子(作家)	「泣いて 笑って 頑張って」	
平成21年2月6日	アグネス・チャン(歌手)	「みんな地球に生きる人」	協会設立25周年記念
平成22年2月13日	三遊亭好楽(落語家) 他	「平和寄席」	
平成23年1月30日	<small>ビョンジンイル</small> 辺 真一(ジャーナリスト)	「だれでもわかるコリアレポート ～日本と朝鮮半島の将来～」	
平成24年2月18日	八名信夫(俳優)	「にぎりめしひとつ この 平和を大切にしてほしい」	
平成25年3月16日	上條恒彦(俳優) 加賀美幸子(アナウンサー)	「平和朗読～明日、 あなたが語るナガサキ」	
平成26年2月9日	神田香織(講談師)	「はだしのゲンを 語り続けて」	
平成27年2月7日	蓮池薫(大学准教授)	「夢と絆」	
平成27年12月13日	<small>カンサンジュン</small> 姜尚中(政治学者)	「ナガサキ」と「フクシマ」の 間―核なき世界を求めて―	被爆70周年
平成29年2月19日	宮川泰夫(元アナウンサー)	であいふれあいひびきあい ～「のど自慢」12年の旅から～	
平成30年2月12日	一龍斎春水(講談師)	一龍斎春水が語る「火垂るの墓」	
平成31年2月10日	松瀬学(スポーツジャーナリス ト・ノンフィクション作家)	「平和とスポーツ」 ～ラグビーワールドカップ2019に向けて～	



宮川泰夫氏講演会



一龍斎春水氏講演会



松瀬学氏講演会

⑤ 国連軍縮週間「市民のつどい」

昭和53年5月23日、第1回国連軍縮特別総会において、国連の日である10月24日から1週間が「国連軍縮週間」と定められ、世界各地で様々な行事が行われています。

協会では、市民の平和意識の高揚と平和問題への認識を深めることを目的に、協会が発足した昭和58年から会員や市民の皆様の協力のもと「市民のつどい」を開催しています。

平成30年度開催状況

開催日	平成30年10月27日（土）
場所	長崎原爆資料館前階段下広場
コーナー	戦時食コーナー、原爆写真展コーナー、エコ風船コーナー、ミニコンサート、折り鶴コーナー、綿菓子・ポップコーンコーナー



戦時食コーナー



原爆写真展コーナー



エコ風船コーナー



ミニコンサート



折り鶴コーナー



綿菓子・ポップコーンコーナー

⑥ 秋月グラント

平成10年、当協会設立15周年を機に、「ナガサキ平和創設グラント」を創設し、平和意識高揚のための事業などを行う団体や個人を対象として助成してきました。

平成16年、財団設立20周年を迎えるにあたり、協会の創始者で初代理事長の故・秋月辰一郎氏を顕彰しようという機運が高まり、「秋月グラント」として多くの方々に助成制度を利用いただけるよう門戸を広げました。

平成30年度 秋月グラント事業助成状況

団体・個人名	事業名称	事業目的・内容	実施日・場所
長崎おり鶴再生画用紙子ども絵展実行委員会	長崎おり鶴再生画用紙子ども絵展	世界恒久平和を願う長崎のアーティスト達が、市民とともに様々な平和をつなぐイベント開催する。	8月4日～ 8月31日 長崎原爆資料館、 長崎ブリックホール他



⑦ 平和案内人の育成と派遣

原爆投下から73年が経過し、被爆の惨状を知る被爆者も高齢となり、その数も年々少なくなっています。協会ではこのような現状を踏まえ、長崎原爆資料館や追悼平和祈念館、周辺の被爆遺構のガイドを行う平和案内人の育成・派遣に取り組んでいます。これまでに平成16年度の第1期生から6回の育成講座を実施し、現在6期生までの160人が登録・活動しています。

長崎県内の小中学生や長崎を訪れる観光客などを、長崎原爆資料館や被爆の痕跡を残す遺構を案内することにより、原爆の恐怖と平和の大切さへの理解を深めていただいています。

平成30年度から長崎平和ガイド(長崎国際観光コンベンション協会)が新設され、県外の修学旅行を担当することとなり、長崎県内・市内の平和学習を平和案内人が担当するように棲み分けを行いました。

◆活動内容

①長崎原爆資料館常駐ガイド(無料)

長崎原爆資料館正面玄関に待機し、案内を希望する来館者を30分～1時間程度、長崎原爆資料館や追悼平和祈念館の館内を無料で案内します。

②長崎原爆資料館予約ガイド(1,500円/平和案内人1人)

学校、一般団体客から事前に申し込みがあった場合、ガイド1人につき10人をめどに、長崎原爆資料館と追悼平和祈念館を案内します。

③碑めぐりガイド(1,500円/平和案内人1人)

長崎県内の学校・一般団体客から事前に申込があった場合、ガイド1人につき10人をめどに、平和公園や周辺の被爆建造物等の希望に応じた箇所を案内します。

◆活動実績(平成30年度)

区分	申込件数	利用者数	ガイド活動人数(延)
常駐ガイド	2,331件	10,629人	1,427人
資料館予約ガイド	66件	1,661人	183人
碑めぐりガイド	272件	8,965人	971人
合計	2,669件	21,255人	2,581人



長崎原爆資料館予約ガイド



碑めぐりガイド



研修の様子

研修活動

平和案内人と事務局との意見交換や研修のため、年3回程度の全体会の開催と、各班の研修を実施しています。

平成30年度は、長崎大学原爆後障害医療研究所の三根真理子氏より原爆直後の救護活動と調査についての講話や、永井隆記念館長の永井徳三郎氏による永井隆氏の思いについての研修などを行いました。

また、長崎平和ガイド(長崎国際観光コンベンション協会)との合同研修会として「ゲンバクと呼ばれた少年」の著者・中村由一氏の被爆体験講話を行いました。

⑧ 共催・後援・協力事業

平成30年度 共催・後援・協力事業

事業名	主体団体	開催日	開催場所	区分
青少年ピースボランティア育成事業	長崎市	4月10日～ 平成31年3月31日	長崎原爆資料館他	共催
ピースポート2018 「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」(前半)	ピースポート	5月8日～8月21日	横浜発着 地球一周の船旅	後援
戦没画学生慰霊美術館 無言館 祈りの絵	長崎県美術館、 KTNテレビ長崎	6月3日～7月8日	長崎県美術館 企画展室	後援
第10回～語り合おう in Nagasaki～ 外国人による日本語弁論大会	外国人による日本語弁論大会 実行委員会	6月16日	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館 交流ラウンジ	共催
生きて繋いで2018	被爆三世 －これからの私たちは－Project	6月19日～7月16日	ナガサキ ピースミュージアム	後援
第30回ながさき平和大集会	核兵器廃絶地球市民 長崎集会実行委員会	7月1日	長崎原爆資料館ホール	共催
ナガサキ・土崎 被爆証言講話会	秋田市	7月15日～16日	秋田市	協力
平和への祈りコンサート	平和への祈りコンサート 実行委員会	7月20日	カトリック浦上教会	後援
国際平和シンポジウム2018 「核兵器廃絶への道」	朝日新聞社他	7月28日	長崎原爆資料館ホール	共催
第65回長崎原爆忌平和祈念俳句大会	長崎原爆忌平和祈念俳句大会	8月4日	長崎原爆資料館 平和学習室	後援
長崎平和祈念献茶式	長崎市、裏千家	8月4日～5日	長崎市爆心地公園他	後援
長崎平和アートプロジェクト2018	長崎平和アートプロジェクト	8月4日～31日	長崎原爆資料館他	後援
被爆73年 連合2018 平和ナガサキ集会	日本労働組合総連合会	8月8日	長崎県立総合体育館 メインアリーナ	後援
ピースアクションinナガサキ 虹のひろば	日本生活協同組合連合会他	8月8日	長崎市民会館 文化ホール	後援
青少年ピースフォーラム事業	長崎市	8月8日～9日	長崎市平和会館、 長崎原爆資料館他	後援
第33回長崎平和音楽祭	長崎平和音楽祭実行委員会	8月11日	長崎市平和会館ホール	共催
第56回原爆忌文芸大会	NPO法人長崎国際文化協会	8月12日	長崎ブリックホール	後援
ピースポート2018 「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」(後半)	ピースポート	9月1日～12月17日	横浜発着 地球一周の船旅	後援
第11回「紙しばい」発表会	紙しばい会	9月2日	長崎原爆資料館 平和学習室	後援
「平和を語る」アキ・ラー氏講演会	特定非営利活動法人 他	9月21日	長崎ブリックホール 国際会議場	後援
日本放射線影響学会第61回大会 市民公開講座	日本放射線影響学会 第61回大会	11月9日	長崎ブリックホール 国際会議場	後援
第40回長崎YMCA平和の使者 クリスマスカードコンテスト	長崎YMCA、 長崎フイズメンズクラブ	11月20日～ 12月25日	長崎YMCA他	後援
川村奈美子ピアノリサイタル ～平和を願って～	一般社団法人 アルテ・クラシカ協会	11月25日	NBCビデオホール	後援
長崎国際平和映画フォーラム2018	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館	12月15日～16日	長崎原爆資料館ホール他	後援



3 国際平和交流

① アジア青年平和交流事業

アジア諸国と日本の若者との交流事業は、平成15年、協会設立20周年の記念事業としてスタートし、長崎と韓国やマレーシアなどの若者がお互いの国を相互訪問して交流を図ってきました。

平成23年度から、「相互訪問方式」から「企画採用方式」に変更し、若者自身が企画したプログラムを公開審査のうえ、協会から若者グループへの委託事業として実施しています。

平成30年度は、3チームを認定しました。

【相互訪問の実績】

- 第1回（平成15年）韓国青年の来崎（6人）長崎青年の訪韓（6人）
- 第2回（平成16年）韓国青年の来崎（7人）長崎青年の訪韓（7人）
- 第3回（平成17年）韓国青年の来崎（6人）長崎青年の訪韓（6人）
- 第4回（平成18年）長崎青年の訪マレーシア（5人）マレーシア青年の来崎（2人）
- 第5回（平成19年）長崎青年の訪シンガポール・マレーシア（5人）
- 第6回（平成20年）長崎青年の訪シンガポール・マレーシア（5人）マレーシア青年の来崎（2人）
- 第7回（平成21年）長崎青年の訪マレーシア（5人）
- 第8回（平成22年）マレーシア・韓国青年の来崎（4人）

【公開審査認定事業】

- 平成25年度 ・活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」
・長崎外国語大学 国際交流サロンチーム「Sweets Champion!!」
- 平成26年度 ・活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」
・長崎外国語大学 2014国際交流プロジェクト「世界の料理を食べようB級グルメ」
- 平成27年度 ・活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」
・長崎外国語大学 国際交流プロジェクト
・長崎県立大学 金村研究室
・長崎大学 Peace' story JPN
- 平成28年度 ・活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」
・長崎県立大学 金村先生と愉快的な学生たち
- 平成29年度 ・活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」
・長崎外国語大学 国際交流プロジェクト
・長崎大学 Peace Caravan隊
・長崎県立大学シーボルト校金村ゼミ「Peace Pieceプロジェクト」
・長崎純心大学 Green Pieces
- 平成30年度 ・活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」
・長崎県立大学シーボルト校金村ゼミ「Peace Pieceプロジェクト」
・長崎純心大学 Green Pieces

② 外国人と市民の集い

協会の国際交流部会主催で、市内在住外国人や留学生と交流を深め、長崎の平和の願いを理解してもらうため、昭和62年から国際交流のつどいを開催しています。

第32回 開催日 平成30年11月10日（土）長崎原爆資料館平和学習室

4 部会活動

① 継承部会

自らの体験などを、「被爆体験講話」として話しています。年間実績など、講話の詳細は3～5ページに掲載しています。

講話以外にも、部会内に6つの事業班を作り、部会員が当時の様子や体験を話しながら原爆遺跡などを巡る市民対象めぐりの開催や、被爆体験の継承問題について協議する他、平和案内人との交流会を実施するなど、様々な活動に取り組んでいます。〈写真は3ページ参照〉

② 写真資料調査部会

被災写真や平和関連資料の収集と調査・整理とともに、定期的に原爆写真展を開催しています。平成30年度は、追悼平和祈念館交流ラウンジで「写真展 被爆後の長崎—米軍占領の記録」を開催しました。また、米国国立公文書館資料検証業務を長崎市から受託しました。

写真資料調査部会の前身は昭和54年発足の「長崎の被爆写真調査会」で、昭和58年の協会発足時に協会の部会となりました。

③ 国際交流部会

新しく長崎に来た留学生や社会人の皆さんに市民との出会いの機会を提供する4月の「ポットラックパーティー」、外国の方に国の紹介や研究内容など様々なことを話していただく「国際交流の夕べ」などを開催しています。最大の魅力は、その場で疑問や知りたいことを尋ね、すぐに回答していただけることです。どなたでも参加できる、親しみやすい集まりです。

④ 音楽部会

音楽を通じて平和を訴えることを目的として、国連軍縮週間行事の「市民のつどい」において、合唱などを行っています。また、恒例の長崎平和音楽祭実行委員会の主要メンバーとしても活躍しています。



写真資料調査部会



国際交流部会
(「外国人と市民のつどい」にて)



音楽部会
(「長崎国際平和映画フォーラム」にて)

II 長崎原爆資料館運営事業 (原爆資料館原爆・平和総合案内業務)

長崎原爆資料館展示室の観覧料徴収や、正面玄関での総合案内をはじめ、展示物の案内、平和公園周辺を含めた市内の観光施設のルート案内など長崎原爆資料館の運営の一翼を担うことにより、協会の目的である平和推進に取り組んでいます。



III 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業 (原爆資料館図書資料整理業務)

図書室としての情報発信の観点から、原爆被爆の実相や平和推進に関する様々な書籍の購入や資料の収集、整理などを通じて、協会の目的である平和推進に取り組んでいます。





IV 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業（平成30年度の主な事業）

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、平成15年に開館した追悼平和祈念館の施設管理と事業運営を国から受託して、様々な事業を行っています。

原爆死没者の氏名・遺影の登録及び死没者名簿の保管

氏名・遺影（写真）を収集し、登録のうえ館内公開しています。また、死没者名簿を保管しています。

年度別登録状況

年度	遺影の登録者数
平成28年度	338人
平成29年度	285人
平成30年度	343人
累計	9,369人



原爆死没者名簿棚
（追悼空間）

被爆体験記などの収集・整理・公開・展示

収集した被爆体験記を館内の情報端末機器などで公開・展示しています。

収集状況

年度	被爆体験記の収集数
平成28年度	73人分
平成29年度	27人分
平成30年度	58人分
累計	1,332人分



被爆体験記の公開・展示
（遺影・手記閲覧室）

被爆体験記執筆補助

体験記を残す意欲を持ちながらその執筆が困難な被爆者を対象として職員による聞き取りと代筆を行います。平成17年度から累計19人の執筆補助を行いました。

被ばく医療関連情報の収集・整理・提供（被爆者健康講話）

長崎大学原爆後障害医療研究所の協力をいただき、追悼平和祈念館と五島市をインターネット会議システムで結び、健康維持に役立つ健康講話を10回実施しました。

海外原爆展の開催

10月1日から11月30日の間、長崎市の姉妹都市であるポルトガル共和国・ポルト市で開催しました。開催期間中7,458人の来場がありました。平成17年度からの開催国、都市数は13か国、20都市、累計来場者数は111,650人となりました。



被爆体験記執筆補助

ピースネットの実施

追悼平和祈念館と遠隔地の学校などをインターネット会議システムで結んで被爆体験講話などを実施しており、モンゴル、キルギスなどの海外を含めて23回実施しました。

平和ボランティア育成外国語講座

平和公園周辺などを外国語で案内するボランティアガイドを育成しており、英語14人、韓国・朝鮮語7人、中国語7人が修了しました。



ピースネット

アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム

アジアの若者による平和のネットワーク作りを推進するプログラムを実施しており、マレーシア5人、韓国5人、中国5人の若者と長崎の若者が交流を深めました。

被爆体験記朗読ボランティア育成・派遣

被爆体験記朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ『永遠とわの会』」は、追悼平和祈念館内での常駐朗読を始めとした朗読活動を行いました。

(常駐朗読：178回、定期朗読会：18回、派遣朗読：57回、その他1回)

長崎国際平和映画フォーラム

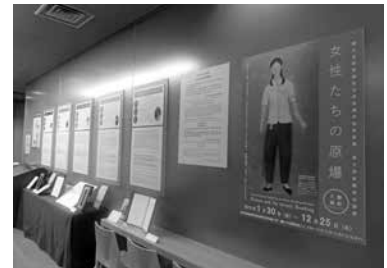
12月15日と16日の2日間、「母と暮せば」などの映画4作品を上映し、特別プログラムとしてポーレ・サヴィアーノ写真展、無名塾による朗読劇などを行いました。

企画展の開催

テーマに沿った被爆体験記を選出し、追悼平和祈念館が保有する資料とともに企画展を開催しました。

平成30年度企画展実績

- ・第8回企画展「原爆と救護」
平成30年1月30日～平成30年12月25日
- ・第9回企画展「女性たちの原爆」
平成31年1月30日～令和元年12月25日



企画展 「女性たちの原爆」

家族・交流証言者等派遣

平成30年度は長崎市外へ102件（家族・交流証言講話66件、被爆体験記朗読会36件）の派遣を実施しました。

また、ポルトガル共和国ポルト市、リスボン市、カスカイス市で5件の派遣講話等を実施しました。

V 収益事業（図書など販売）

平和推進事業の実施に必要な自主財源を確保するために、長崎原爆資料館内で原爆に関する書籍や平和グッズを販売するミュージアムショップを運営しています。平成28年から店舗でのクレジットカード決済を導入しました。

また同年11月から、長崎原爆資料館や追悼平和祈念館に寄贈された折り鶴の再生紙から作られたグッズを販売しています。ホームページでも書籍・グッズの紹介やオンライン販売受付なども行っています。

平成30年には、管田多津子さん製作の折鶴再生紙を使ったビーズアクセサリーの販売も始めました。

さらに、ミュージアムショップで販売している書籍・グッズが長崎市ふるさと納税の謝礼品として登録されています。

ミュージアムショップホームページ

URL：<https://www.peace-wing-n.or.jp/shop/>



折り鶴再生紙の
グッズ



ビーズアクセサリー
「いのりの折り鶴シリーズ」

フォト特集！ 2018年を振り返って

「核兵器廃絶と世界恒久平和の実現」の基本理念のもと様々な事業を実施しました。

「永遠の会」朗読会「9日を忘れない」の活動（通年）



継承部会総会（4月）



写真展 被爆後の長崎—米軍占領の記録（7～8月）



家族・交流証言者等派遣（10月）



アジアの若者によるネットワーク構築プログラム（11月）



協会設立記念 松瀬学氏講演会（2月）



公益財団法人 長崎平和推進協会この一年の動き

平成30年(2018年)

- 4月6日 第1回継承部会総会
- 4月20日 ポットラックパーティー (国際交流部会)
- 4月28日 第1回平和案内人全体会
- 5月16日 第1回運営会議
第1回通常理事会
- 5月18日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 5月30日 定時評議員会
臨時理事会
- 6月5日 第1回広報委員会
- 6月22日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 6月27日 第2回運営会議
- 7月20日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 7月23日～8月3日 写真展 被爆後の長崎—米軍占領の記録
(写真資料調査部会)
- 7月23日～10月29日 平和ボランティア育成外国語講座
- 8月22日 第2回広報委員会
- 8月23日 第2回継承部会総会
- 8月25日 第2回平和案内人全体会
- 9月8日 アジア青年平和交流事業発表・審査会
- 9月16日 市民対象碑めぐり (継承部会・原爆遺跡研修班)
- 9月21日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 10月1日～11月30日 海外原爆展「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」
(ポルトガル・ポルト市)
- 10月27日 国連軍縮週間行事「市民のつどい」
- 11月4日 外国人と市民の集い (国際交流部会)
- 11月14日～20日 アジアの若者による平和ネットワーク
構築プログラム
- 11月16日～18日 第6回 核兵器廃絶—地球市民集会ナガサキ
- 11月21日 第3回広報委員会
- 12月15日、16日 長崎国際平和映画フォーラム2018
- 12月19日 第3回運営会議
- 12月21日 国際交流の夕べ (国際交流部会)



9月16日
市民対象碑めぐり



10月1日～11月30日
海外原爆展「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」



12月15日、16日
長崎国際平和映画フォーラム



平成31年(2019年)

- 1月18日** 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 1月19日** 第3回平和案内人全体会
- 1月25日** 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 2月5日** 第1回事業推進委員会
- 2月5日** 第1回財務・組織委員会
- 2月10日** 松瀬学氏講演会「平和とスポーツ」
～ラグビーワールドカップ2019に向けて～
- 2月19日** 第4回広報委員会
- 2月22日** 海外活動報告会 (継承部会・ピーストーク研修班)
- 3月2日** 継承部会・平和案内人交流会
- 3月3日** アジア青年平和交流事業成果報告会
- 3月5日** 第2回事業推進委員会
- 3月5日** 第2回財務・組織委員会
- 3月7日** 第4回運営会議
- 3月10日** 市民対象碑めぐり (継承部会・原爆遺跡研修班)
- 3月15日** 第2回通常理事会
- 3月15日** 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 3月22日** 第3回継承部会総会



1月19日
平和案内人全体会



3月2日
継承部会・平和案内人交流会



3月3日
アジア青年平和交流事業成果報告会

第6回 核兵器廃絶一地球市民集会ナガサキ フォトショット

2018年11月16日～18日 長崎市平和会館ホール・長崎原爆資料館



分科会2（被爆の継承）



NGOブース



平和へのメッセージツリー






平和のシンボル「はと」を官と民を示す両手が受け止めている様子を表しています。


(公財)長崎平和推進協会

〒852-8117 長崎市平野町7番8号
電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961
URL:<https://www.peace-wing-n.or.jp/>



 (公財)長崎平和推進協会



 長崎市の平和・原爆

会員募集中

協会会員になって、一緒に平和の輪を広げましょう!